

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	入居者が自分らしく、最後まで自分を見失わない人生を送って頂くこと、ホームでの新しい家族として普通の生活を支援することを理念としている。	○	企業理念に「こころをつなぎ、あしたへつなぐ」をモットーにあげている。民生委員とホームの良い関係を構築しているため、地域住民、資源とのつながりも持たれ、個々のニーズにあった支援を行っている、
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	ウィズグループが掲げている”介護の心得10条”を毎日の申し送り時にスタッフ声をそろえて唱和している。また、ホーム理念は日々の生活やミーティングなどで共有し、実践に向けて取り組んでいる。		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	運営推進委員会やホームの行事などにご家族、地域の方々にも積極的にご参加頂くことにより、コミュニケーションを図っている。また、お互いによりよい信頼関係を持つことが出来るように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	日常出会った時には、必ずご挨拶をするように心掛けている。また、毎月の公園清掃、廃品回収、食進会、ふれあいサロンなどに出向き、ホームを理解して頂くことに努めると共に、地域行事にも参加させて頂き、意見交換、情報交換を行っている。	○	自治会の年2回の総会に参加し親睦を深めている。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	町内、城南区での行事、地域活動について民生委員をはじめ、地域の一員として様々な活動に参加している。(公園清掃、廃品回収、食進会、ふれあいサロン、どんたく祭り、校区運動会、校区文化祭、体操教室など)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>毎年、梅干作り、秋祭り、餅つき大会、校区バザーに出店している。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>前年度の課題でスタッフの異動、変動に対してご家族の不安があげられていた。家族会で話し合いの場を持った。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>今までの会議での意見、要望をスタッフ全員で再度洗い直し、消化、未消化の確認を行い、評価し、今年度の運営に反映していく。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>スタッフの積極的な講習への参加と定期的な勉強会を行っていく。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>チーム・ワーク チーム・ケアを充実し、スタッフのストレス軽減、気分転換ができる雰囲気づくりを行う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前にご入居者、ご家族の不安、疑問点を尋ね、施設長、ホーム長が説明している。場合によっては、主治医同席のもと、話し合い、説明を行っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご入居者からの意見、不満、苦情については、詳細を記録に残し、情報の共有に努め、全スタッフで同じ対応に努めている。内容によっては、ケアプランに反映している。また、申し送りやミーティングで話し合いを行っている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日々の面会時に近況の状態報告や主治医からの見解をご説明している。また、ふれあい通信を作成し、健康状態、生活状況、月の予定、目標などを毎月ご家族へお渡ししている。金銭管理は立て替え金制度のため、月に1回本社より郵送で報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の面会時やご家族面談時の意見、ご要望、アドバイス内容を分析し、苦情の芽となりうるものについては、改善シートを作成し、申し送り時に再確認と意識を持って業務に臨んでいる。また、ご要望については、ケアプランに反映させている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見、提案については、事前にアンケートをとったり、ミーティングで話し合いを行い、働きやすい職場作りに努めている。また、定期的に職員面談を実施し、個々の要望、目標について一緒に考える機会を設けている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ご入居者やご家族の状況やご要望に合わせて病院受診や外出レクなどにも付き添いが出来る様に努めている。また、出来るだけ担当者が同行し、前後の状態把握がしやすい様に勤務の調整を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1F2F合同勤務を行っており、どちらともに顔馴染みの関係が築ける様に普段から配慮している。ご入居者への支援、状態変化についても各スタッフへの報告、申し送りの徹底に努めている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用にあたって性別、年齢などを理由に採用対象より排除せず、事前にボランティアで来て頂き、スタッフへもその人なりを見てもらう様にしている。その上で受ける側にも採用の意思、意欲を確認している。入職後は、そのスタッフの得意、不得意な部分を理解し、協力体制をとりながら業務にあたってもらう様に努めている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>ミーティング時に各スタッフのご入居者へ対する言動について抑制になっていないか、不快な思いをさせていないかの反省点、改善点を話し合っている。</p>	○	<p>日々の実践の中で職員にこまめな言葉をかけ教育を行っている。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内での疑問点、介助の仕方、研修後の報告会など内部勉強会を開き、他スタッフにも浸透する様に努めている。また、実践出来るものは各スタッフが積極的に取り組んでいる。外部研修についても自主参加を促し、意欲向上に繋がる様に配慮している。</p>	○	<p>会社主催、管理者が研修委員となり、各事業所が集まり、新人・現任・リーダー・全体職員対象に分けての研修を行った。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会のブロック研修にて、他事業所の見学、意見交換、勉強会、交流などに参加させて頂き、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>アンケートでストレスや要望を聞きミーティングで全員でじっくり話し合いストレスの軽減に努めている。福利厚生を利用し、野球観戦にいたり、ご利用者と1対1での外出レクに行ったりしてリフレッシュしている。</p>	○	<p>ホーム長・施設長・介護主任・スタッフ間で社外で一杯意見を言い合える親睦の場を定期的に設けていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員と接する時間、会話の時間を持ち、関わる機会を多く持てる様に努めており、相談、助言を行っている。</p>		
<p>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>事前にご入居者、ご家族との面談、聞き取りを行い、その方を受けとめる努力をしている。また入居するにあたり体験入居をして頂き、ご本人、ご家族、スタッフそれぞれの状況を把握する様にしている。</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>ご家族面談を行い、どういった内容で困っているのか、ホームに求めていることは何かを事前にアンケートを記入して頂き、状況把握に努め、ホームとして受けとめる努力をしている。</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>相談内容を見極めた上で、利用出来るサービス内容の確認、他サービスの助言、紹介などを行っている。</p>	○	<p>入居相談時に話の中からしっかりと悩みや困っておられることを引き出させるよう時間をかけ行い他介護保険施設、相談窓口、福祉権利擁護事業などの情報、活用のアドバイスを行っている。</p>
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ご家族面談、ケアプラン作成時にはご本人参加のもと行っている。ご本人の意思確認が難しい場合には、生活状況を観察、判断しながらサービスに努めている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>スタッフはご入居者に対し尊敬や尊厳を持って対応している。一緒に生活をしていく中で喜怒哀楽を共にしながら、お互いに理解を深め学ぶことで、支え合う関係作りが出来ている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関わりについては、ご家族側もスタッフ側も遠慮せずに本音での話し合いに努めている。ケアプラン実施や外出希望などご家族のご協力のもとでご本人との関わりを持ち、より良いケアに繋げている。また、ご本人やご家族の要望にも対応できる様に努めている。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	日々の状態報告に努めていることから、ご家族からは、積極的にご本人との生活(散歩・会話・入浴・外出レクリエーション)と一緒にされる機会が多くホーム内でも家族関係が保たれている。		
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人レクでは、ご本人の希望の場所を伺い支援している。思いつきの場所への外出は遠方であったり、風景が変わっていることなどの理由と時間調整もあり支援できていないため回想を取り入れ感情から途切れないよう支援している。ご親戚、ご友人の来訪はご家族が努めてされている。		
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている	孤立されることがない様、くつろがれる場所の提供、席の工夫、会話の橋渡しをしている。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在していません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族面談、ご入居者面談を実施し、ご本人の希望、意向の把握に努めている。また、アセスメントの実施によりご本人の生活ペースに合わせた関わりに努め、カンファレンスの場で評価、検討を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>消防の方の協力もと、心肺蘇生法、避難訓練をご入居者も交えて実施している。民生委員や食生活改善推進会員である町内の方が家事支援ボランティアで協力いただいている。</p>	<p>○</p> <p>公民館主催の文化・教育イベントなど参加できるよう運営推進委委員会で図っていききたい。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>他ケアマネジャーとの連携はないが、ご本人の希望に添って他サービス事業所へ出掛けたり、入浴などを利用している。</p>	
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとの共同は現時点では出来ていない。</p>	<p>○</p> <p>ウィズ通信や運営推進委員会案内等、定期的に出かけ関係づくりを行っている。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に2回の主治医往診、訪問看護があり、医療面では、毎週のサポートをして頂いている。また、緊急時には24時間体制が整っており、必要時には主治医より直接ご家族へ説明もして頂いている。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主に主治医に相談し、ご入居者の診断、治療も受けられる様に支援して頂いている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>月2回の訪問看護の往診にてご入居者の状態をチェックして頂くと共に不明な点についても相談し、分かりやすい助言を頂くことで特変時にはスムーズに対応出来ている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	後片付け、調理ができるご入居者にはこえ掛けを行っている。
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>入浴に抵抗があるご入居者はご家族と一緒に楽しんで入っていただいている。 ミーティングやカンファレンス日職員の都合となり希望に副っていないため、今後工夫が必要。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>〇電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>手紙のやりとりは支援していないが、ご家族やご友人からのお電話を引き継ぎ、ご本人同士の会話を楽しまれる様に努めている。</p>		
66	<p>〇家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>訪問時間の取り決めは行っていない。以前は、ご家族来訪時にお茶を出していたが、「お客様扱いしないで欲しい」とのご要望から、現在は台所へも自由に入って頂き、ご家族にも”家”として過ごして頂いている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
	<p>〇身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>毎月のミーティング時に抑制廃止委員会を開き、全スタッフでの話し合いを行い、言葉の抑制、態度、身体拘束についての確認と今後の取り組みを再確認している。</p>		
68	<p>〇鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>鍵をかけないことを常に意識している。日中はご入居者も自由に出入りされている。夜間帯は安全を考慮して施錠し、防犯にも努めている。鍵をかけることについては、ご家族への説明を行い、ご理解を頂いている。</p>		
69	<p>〇利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>常に所在確認を行い、ご入居者の状態把握にも努め、スタッフ間での声掛けを密に行っている。</p>		
70	<p>〇注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>以前に起きたヒヤリ、事故についてはマニュアル化し、危険防止に努めている。特に台所、浴室については保管場所の設置を行い、確実に管理出来る様に実施している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>〇事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>〇急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>〇災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>〇リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>〇体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>〇服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>〇便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘予防に細めに水分摂取を促したり、食物繊維の多い食事の提供に努めている。また、ホットパックや腹部マッサージもトイレ誘導時に行なっている。</p>	
78	<p>〇口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔内に残渣物が残る方については、毎食後にうがい薬での口腔ケアを実施し、清潔に努めている。その他のご入居者も就床前には義歯をはずし、うがい薬でうがいをしている。</p>	
79	<p>〇栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ご入居者の咀嚼、嚥下状態、既往歴に合わせながらバランスの取れた献立や食事作りに努め、ケアプランにも反映している。糖尿病の方には、カロリーを控えた味付けにし、ご飯のグラム数も統一している。また、ミキサー食の方には、嚥下しやすい様にとろみ粉やゼリーなどで対応している。水分管理が必要な方には水分チェックをしている。</p>	
80	<p>〇感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症ごとにマニュアルを作成しており、手洗い、うがい、ピューラックス消毒の徹底をしている。ご入居者、ご家族、外部の方にも細めに声掛けを行なっている。また、年に1回のインフルエンザ予防注射、毎月の検体検査も実施している。</p>	
81	<p>〇食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材を扱う場合には必ず手をピューラックスで消毒後、ペーパータオルの使用を徹底している。生野菜使用時や調理用具使用後もピューラックス消毒を行なっている。野菜、魚肉は毎日配達してもらい新鮮な食材調達を行っている。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>〇安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>外に掲示板を設置し、別府通信、行事のご案内、ポスターなどを張り、親しみやすい環境作りに努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	<p>日中は全員の方がリビングで過ごされている。体調が悪い時は、居室で過ごしていただくよう支援するため、加湿器を設置し居室の湿度にも配慮している。</p>
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	<p>感情面での理解だけではなく、わかる「物」のニーズ引き出しが不足しているため、いろいろな物を視野に入るところに置き、声掛けに工夫と目的意識をもちアセスメントを行い、自立支援の工夫をしていく。</p>
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	<p>小さな畑を作り玉ねぎを植え、みんなで収穫祭を行なった。</p>

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・対話・声掛けに力をいれ関わりを重視しています。
- ・ご家族もホームの家族として一緒に生活サポートできる雰囲気づくり。
- ・重度の方、個々の状態に副った食事の提供・食事形態、食材を調理工夫し栄養バランスを考え、美味しく、口からの食生活えのお手伝い。
- ・気持ちよく健康ですごして頂くために足浴とフットマッサージ（スタッフ 勉強をしました。）をお手伝いしています。